

令和元年度 第1回 運営推進会議

出席者：市役所職員、地区民生委員、地域密着型通所介護の知見者、利用者、利用者家族、管理者

1. はじめに

- ・介護報酬改定にともなう重要事項説明書の交付について
- ・災害時の休業判断について

《議事内容》

2. 上期の事業運営状況

○利用実績状況報告

- ・別紙参照

○事故、苦情(相談)について

9月 3名事故

レク中の転倒事故、虫さされ、浴室移動中に戸で指を挟む

○ヒヤリ・ハット

4月 3名

- ・排泄後に呼出しベルを押されず、自分で車椅子に移乗していた。
- ・家族からの内服が間違っていた。

6月 1名

- ・入浴後にドレッシングテープを除去するのを忘れていた。

8月 2名

- ・ベッドから起きて靴下のまま歩いて出ていた。

9月 1名

- ・玄関の鍵を入れ間違っていた。

○行事

別紙、デイサービス便り(毎月発行)を使っでの説明

○職員体制の状況

9月23日

3. 防災、災害対策について

令和元年10月実施予定

防火管理に係る消防訓練、防災(災害)に係る避難訓練

令和元年度 第1回 運営推進会議録

令和元年9月30日 14:00~15:00

場 所：相談室

出席者：浜田市包括支援センター、地域住民代表、地域密着型通所介護の知見者
利用者、利用者家族、管理者

欠席者：相談員 * 担当者会議に出席

【利用者からの感想】

- ・利用中は、常に気に掛けてもらい、対応してもらうことで安心しています。
- ・個別機能訓練、運動を続けることで歩行器も使えるようになりました。
- ・食事は量も味付けも高齢者用に考えてあり、いつも美味しくいただいています。

【各委員からのご意見】

- ・地域住民代表 * ①
災害の時を考えると、地域が高齢化しており、避難場所になる集会所も無く、食料品も備蓄されていない方々ばかりと思われるが、デイサービスは避難場所としてどこまでやってもらえるか。
- ・利用者家族 * ②
認知症の母のように食事を食べた事や入浴にも入ったことも記憶しておらず、そのような方の家族との連絡方法は徹底されているか。
- ・地域密着型通所介護の知見者 * ③
警報等で休止や早帰りとされる判断基準は？休止や早帰りをされた時、独居者や日中に家族がいない方の安全面等は想定されているか。
- ・浜田市包括支援センター
いろいろな災害時に応じて対応できるようにしてもらいたい。

【総評】

各委員からのご意見に対しての回答として

- ① 平日の営業中は、地域の方の避難場所として使っていただくことは可能ですが、土日の休業日の休業中は、職員が常駐しておらず、また災害が起こった場合には職員が出勤できない場合もあるため、その時の状況で要相談と対応させていただきます。
- ② 全員の方に連絡帳を使い、ご自宅での様子を確認したり、デイサービスでの様子を伝えていきます。利用時にはとても重要な情報ですので、連絡帳で分からない事はご家族に連絡を取って聞いています。認知症の方には、特に慎重な対応を行い、家族やケアマネ間との連絡に情報共有をしています。
- ③ 警報レベルと実際の天候状況をみて休止を判断していますが、安全を考えると早めの休止判断が必要ですし、各利用者の状況等を考えると可能な限りの営業も必要と思っています。年間に1~2回程度の休止をしていますが、家族や担当のケアマネに連絡を取り、災害時の対応(見守り体制、食事の確保)を行なっています。想定外の災害が起こる時代ですので、マニュアルの見直しや避難訓練、災害研修等を繰り返し行うことで全ての職員が災害の意識をもち、事業所としても災害の備えが徹底できようとしていきたいと考えています。